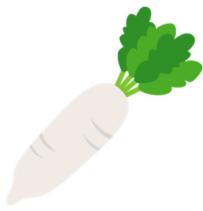




だいこん



発行日：令和4年6月7日

1. 卸売価格の動向

○115円/kg (6月4日)

➢ 年比：122%

○6月の価格見通し

高値水準で推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○205円/kg (5月全国平均)

➢ 前月比：117%、年比：126%

➢ 東京：231円 (1本)

➢ 大阪：134円 (1/2本)

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：5/20 (前月5/20)

➢ 大阪：4/10 (前月3/10)

(機構調べ)

3. 家計消費動向

○277g/人 (4月全国平均)

➢ 前月比：98%

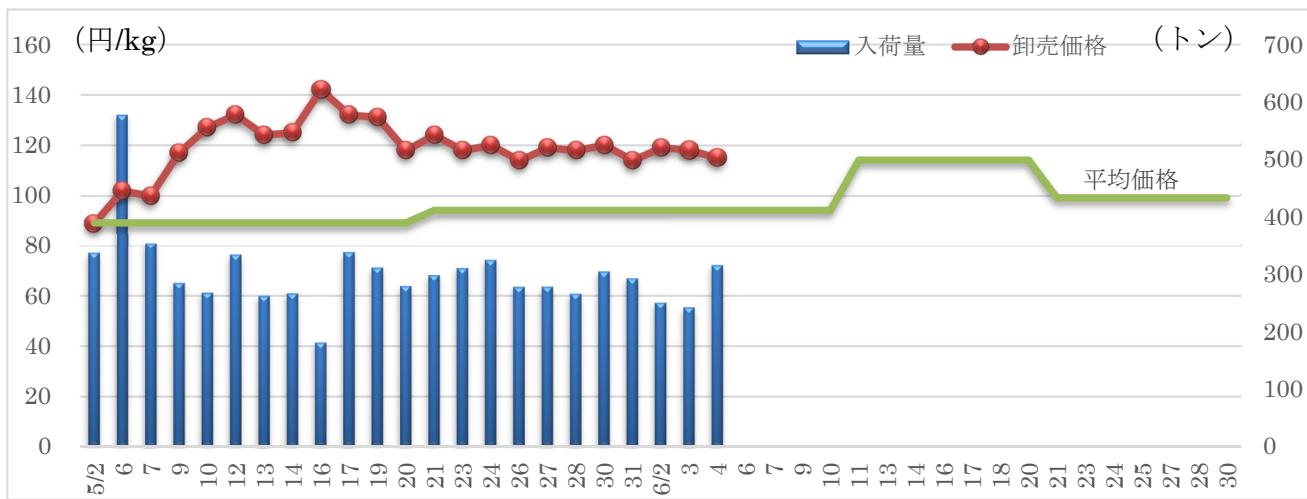
➢ 前年同月比：86%

○3,987g/人 (2021年年間)

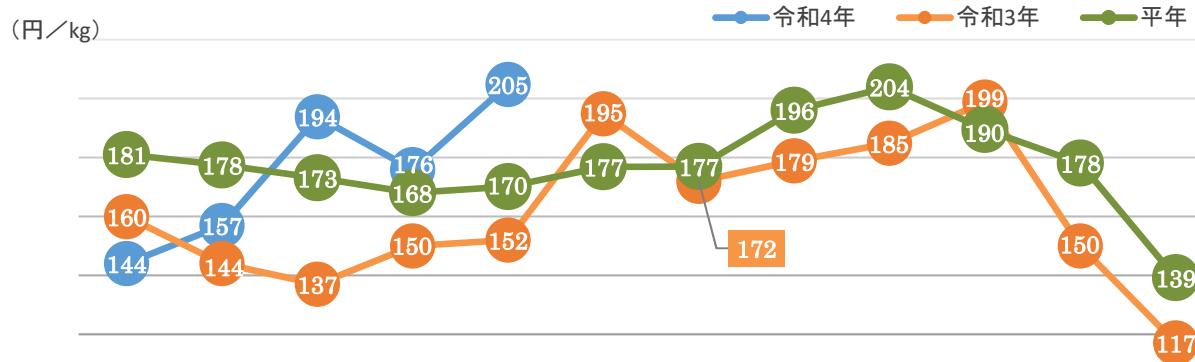
➢ 前年比：95%

(総務省統計局家計調査)

4. だいこんの卸売価格と入荷量の推移 (東京都中央卸売市場)



5. だいこんの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
青森県とうほく六ヶ所 (4/28)	前年並み	平年並み	平年並み	-

※特記ない場合は平年比。（ ）内は調査日。



(機構調べ)

青森県とうほく六ヶ所：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報（6/4～7/1）

		週別の天候
06/04～ 06/10		北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすく平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美は、気圧の谷や前線の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
06/11～ 06/17		北日本では、天気は数日の周期で変わるものでしょう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
06/18～ 07/01		全国的に、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

		平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
北日本	日本海側	低40 並40 高20% 平年並か低い見込み	少30 並40 多30% （ほぼ平年並の見込み）	少30 並40 多30% （ほぼ平年並の見込み）
	太平洋側		少30 並40 多30% （ほぼ平年並の見込み）	少30 並40 多30% （ほぼ平年並の見込み）
東日本	日本海側	低40 並40 高20% 平年並か低い見込み	少30 並40 多30% （ほぼ平年並の見込み）	少30 並40 多30% （ほぼ平年並の見込み）
	太平洋側		少30 並40 多30% （ほぼ平年並の見込み）	少30 並40 多30% （ほぼ平年並の見込み）
西日本	日本海側	低50 並30 高20% 低い見込み	少30 並40 多30% （ほぼ平年並の見込み）	少30 並40 多30% （ほぼ平年並の見込み）
	太平洋側		少30 並40 多30% （ほぼ平年並の見込み）	少30 並40 多30% （ほぼ平年並の見込み）

（気象庁1か月予報）

8. 輸入動向（生鮮その他根菜類）※にんじん・かぶ・ごぼうは除く

○353トン（4月輸入量）

➤ 前年同月比：154%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 326トン
- 2位 メキシコ 14トン
- 3位 オーストラリア 9トン

※平成30年4月より税番改正があったため平年比なし。
(財務省貿易統計)

700 (トン)

600

500

400

300

200

100

0

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

■令和4年
■令和3年
■令和2年

9. 一口メモ

5月は、日照時間の増加や気温上昇、適度な降雨で低温干ばつの影響から生育、肥大が回復傾向となった千葉産、神奈川産などが入荷となりましたが、これら産地からの入荷が終盤となったことから市場入荷量は減少し、価格は平年を上回りました。

6月は、千葉などの関東産に加え、後続の青森産が入荷するものの、生育期の低温干ばつの影響で生育が遅れており、入荷量が伸び悩むため、価格は高値の見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>
<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793